

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 木下 和樹

編集人 高山 浩

2023年

1月1日

第465号



JR東海労

<http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/>

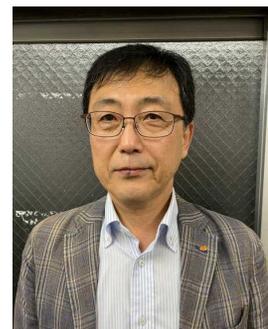


闘春

安全・安心して働き暮らせる

社会と職場をつくらう！

中央執行委員長 木下 和樹



組合員、OB、そしてご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。新たな一年の幕開けにあたり、中央執行委員会を代表してご挨拶申し上げます。

昨年は新幹線関西西地本・田川哲史さんの加入を勝ち取りました。平成採用組合員は4名となりましました。田川さんは加入にあたり「人間らしく生きていきたい」と語っています。安全に安心して働き暮らせる社会と職場をつくるために闘ってきた成果として確認しようではありませんか。

ウクライナ、朝鮮半島、台湾海峡など国際情勢は非常にきな臭くなっています。それを悪用し岸田自民党政権は防衛費の増大と反撃能力Ⅱ先制攻撃能力の保有、そして憲法改悪に躍起となっています。ウクライナとロシアの戦争をみれば明らかのように、武力衝突で犠牲となるのは労働者をはじめとする社会的弱者です。弱者同士が殺し合いをさせられているのです。私たちは「あらゆる戦争・テロに反対！」と声を上げ続けなければなりません。

ウクライナ情勢や円安の影響で生活必需品の値上げが止まりません。生活費はもとより住宅ローンや教育費の負担も含め、私たちの生活は苦しくなる一方です。来る2023春闘ではJR総連各単組と団結し、生活の維持向上のため大幅賃上げ獲得を目指します。

強制出向・組織破壊攻撃への反撃が大きな課題です。JR東海労働組合員の放逐と同時に、JR東海は業務改革施策貫徹を通じた10〜15年後の鉄道像を公表しました。そこにはリニアについて全く触れられていません。また、鉄道部門の要員を2,500人程度削減することから、職場の特に若い社員からは仕事がなくなる、職場がなくなるといった声が上がっています。施策の実施で安全や雇用が脅かさぬよう闘っていきます。

取り巻く情勢は厳しさを増していますが、憲法の理念である平和・人権・民主主義を守り安全に安心して働き暮らせる社会と職場をつくる闘いを通じ、更なる組織拡大実現に向け、JR総連の仲間と連帯を強化し、今年も奮闘していきましょう。

最後に、皆さんのご健康とご多幸をお祈りし新年のご挨拶といたします。一年間共にごがんばりましょう。

「2023 JR総連春闘」を闘い抜こう!

JR総連執行委員長 山口 浩治



明けまして
おめでとご
ざいます。

昨年来のウ
クライナ戦争
は長期化して
います。私たちは、一刻も早い停
戦とロシア軍の撤退のために可能
な行動を考え、日本政府に対して
も「戦闘停止」を発信すべきだと
声を上げていかなければなりません。

岸田政権の暴走が止まりません。
防衛費増額などの戦争体制の強化、
原発に対する政府方針の転換、防
衛費のための増税、後期高齢者の
医療費窓口負担2割、年金減額、
介護保険利用者負担増検討など、
私たちの生活の安全と安心が急速
に失われています。

憲法9条改悪に向けた下地づく
りが行われています。「9条連」の
仲間と「憲法9条改悪反対」の闘
いを更に強化していきます。

23春闘に向けて、連合内部は今
年も「産別自決」の様相です。芳
野会長は、昨年の春闘の山場での
自民党麻生副総裁との会食が報じ
られたほか、安倍元総理の国葬に
も参加しました。連合は、組合員
の声を受け止め、労働者のための
闘いの先頭に立つべきです。JR



2022春闘で本部事務所を激励訪問された
JR総連山口委員長と小林政策政治部長

総連は22春闘の教訓を活かし、さ
らに連帯・共闘を強め「2023
JR総連春闘」を闘い抜きます。
一方、経営側の「働き方改革」
により組合員の働き度が上がって
います。「安全、健康、ゆとり」の
実現のために、職場運動の強化が
課題です。年休裁判、54歳原則出
向に対しても連帯し闘います。
リニア建設など経営に直結する
課題も山積しています。統一地方
選挙に勝利し、地域や議員団会議
の皆さんと連帯が必要です。
今年もJR総連の旗の下に結集
し、団結を固め、組織強化・拡大
に向けて闘おう!

職場・地域から闘い抜いた2022年 今年も闘おう!



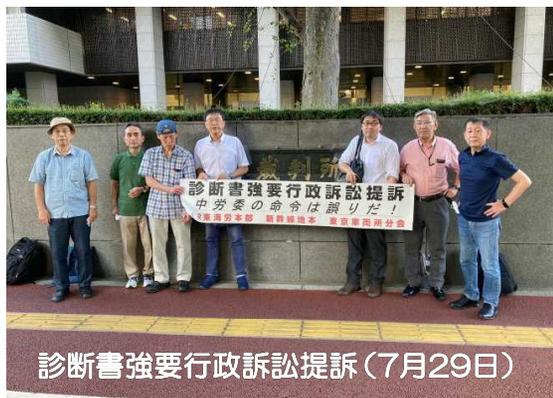
年休裁判東京 尋問報告集会(6月9日)
※結審は9月29日



JR総連沖縄平和研修(4月9~11日)



「ウクライナに平和を、原発に手を
出さな!市民アクション」(3月21日)



診断書強要行政訴訟提訴(7月29日)



田川哲史さん東海労加入歓迎大集会
(7月3日) ※加入は6月28日



第38回定期大会 結成30年記念行事
パネルディスカッション(6月12日)



第38回登山大会(11月10~11日)



本橋書記長提訴(10月7日)



強制出向反対集会(8月30日)

職場からの闘いで、

更なる組織強化・拡大を自指そう！

各地本委員長・OB会長からの決意

全労働者の声を代表して闘う！

新幹線地本 杉澤 秀則



明けましておめでとう
ございます。昨一年間の
新幹線地本の取り組みに
対して多くの激励、ご協
力に感謝申し上げます。
岸田政権は、安保関連
3文書に見られるよう
に、軍事大国化と憲法9
条改悪を一体で押し進
め、一挙に戦争のできる
国を完成させようとして
います。私たちは、憲法
改悪・軍事大国化反対の
旗を鮮明にして闘いま
す。

会社は、職場運動を圧
殺させるために、54歳原
則出向を持ち出し運輸所
の組合員を放逐してしま
した。それに抗して、出
向取消、本体復帰を勝ち
取り、組合員による出向
先での労働条件改善の闘

会社は、リニア建設の
ための経費を生み出すた
めに必死です。それが業
務改革であり、賃金削減、
関連会社への経費削減を
もたらします。即刻中止
すべきです。私たちは、
関連会社を含む全労働者
の声を代表して果敢に闘
いを展開します。共にが
んばりましょう。

いを通じて、多くの前進
を勝ち取り、連帯をもつ
くり出しています。しか
し、未だ淵上さんは東京
第二運輸所への復帰を果
たしていません。地本全
組合員で闘います。
年休裁判は、3月に判
決が出されます。必ずや
闘いに勝つでしょう。

目に見える闘いを展開する！

静岡地本 半場 弘恭



新年明けましておめで
とうございます。昨一年
間の静岡地本の取り組み
に対する激励やご支援に
対して、改めて御礼を申
し上げます。

昨年規程の訂正時間
を超過時間にする闘い
と、リニア建設反対の2
つの闘いを中心に取り組
むべきです。

今年も引き続き職場で
の目に見える闘いを展開
し、労働組合としてのJ
R東海労の必要性を訴
え、更に組織拡大に向け
て奮闘していきます。共
にがんばりましょう。

社員犠牲の業務改革に抗して闘う！

名古屋地本 荻野 隆一



明けましておめでとう
ございます。昨一年間、
多くの仲間と共に闘って
これたことに感謝し、今
年も共に進んでいくこと
を申し上げます。

運動に大きな影響を与
えたコロナですが、私た
ちは波間を抜け各種の集
会やレクを開催してして
きました。集まることの
大切さを痛感した1年で
した。1年以上かけて「地
本30年誌」を作成し発行
しました。闘いと団結を
振り返ることで今後の闘
いの糧にする冊子が発行
にがんばりましょう。

田川さんに続く組織拡大を目指す！

新幹線関西地本 笹田 伸治



旧年中は、私たち新幹
線関西地本にご支援、ご
指導くださり、ありがと
うございました。

昨年の大きな成果は、
何と云っても田川さんの

できました。

ロシアによるウクライ
ナ侵攻から1年が経過し
ようする中、日本では防
衛意識が高揚され、軍事
費の増額が叫ばれ、そし
て憲法改悪が議論されか
ねない状況です。憲法の
改悪を許さず闘います。
沖繩平和研修報告会を開
催しました。沖繩研修を
参加者全員で振り返り、
戦争反対の意思を確認す
ることができました。

昨年10月に発表された
業務改革は、効率化のみ
を優先し要員と経費の削
減を打ち出しました。地
本は分会代表者会議を開
催し反対の意思を固めて
きました。労働組合とし
て奮闘していきます。共
にがんばりましょう。

出向先職場で労働者の利
益と権利を守る運動を展
開し、更なる組織強化と
田川さんに続く組織拡大

労働者へのしわ寄せを許さない！

本部OB会会長 福島 一二三



明けましておめでとう
ございます。

現役の労働者・庶民の
生活は、年々苦しくなり、
年金生活者も支給額の減
額、福祉の切り捨て、医
療費の値上げで、ため息
続きです。政府は、防衛
費の安定財源と称して国
民に「増税」を検討して
ます。十分な国会審議や、
憲法論議もなく決められ
ていくことに、次は徴兵
制の不安です。

一方、日本企業の内部
留保資金は、2021年
度合計で516兆円を超
え、10年連続過去最高を
更新しました。富の独占、
格差が更に拡大していま
す。これこそ、この国が
「貧困の経済大国」とい
う現実です。



を実現するために、お互
い切磋琢磨しながら奮闘
します。本年もよろしく
お願いいたします。

福島 一二三

最近、耳目を引く「新
幹線や一部在来線列車の
自動運転テスト」は、運
転士を廃止する究極の合
理化・効率化です。科学
の進歩、歴史の進歩が、
富の独占や貧困の拡大と
なるような「社会構造」
とは何故なのか！核戦争
の一手前にある危機。
それらを変えるための労
働者、労働組合、勤労大
衆の連帯・結集を、OB
会も微力ながら支援して
いきます。
本年もよろしくお願
い申し上げます。

迎春

鉄道ファミリーは組合員と共に歩みます
皆様をしっかりとサポートします

- ▶がん保険・医療保険・介護保険
- ▶自動車保険・サークル保険
- ▶JR積立年金・組合旗・組合バッチ
- ▶すみっこ商店・伊東さつき会館

今年もよろしくお祈りします

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー
〒141-0031東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル
電話 JR 058-4114-5 NTT 03-3490-3862

平成採組員 闘いの決意大いに語る！

新春座談会



昨年6月28日、大阪第二運輸所の田川哲史さんがJR東海労に加入しました。田川さんを交えて、同じ平成採用の森下暢紀さん、水野良則さん、松山文成さんが集まり、新年の決意や抱負などを語り合いました。また、中央本部より高山副委員長、笹田副委員長、山内総務部長が参加しました。

これが俺の
ユニオン脱退理由だ！

【松山】新年明けましておめでとうございませう。

【全員】明けましておめでとうございませう。

【松山】松山です。座長を務めさせていただきます。



ろしくお話しします。田川さんの加入で平成採組員が4名になりました。今日は座談会ということで、集まって話せる場として、今日皆さんに集まってもらいました。

3年程です。私は、会社を相手取り裁判してしまいました。裁判のときに、木下委員長に助けをもらい、おかげさまで最後まで闘えました。この裁判で、会社や社会の裏側が見えました。綺麗事では進まないということ。親身に考えてもらい、大変ありがたい感謝しています。JR東海ユニオン(以下、ユニオン)は逆にそうではない。ユニオン役員は「会社は悪いことをしない」から言い出す。先日、新大阪でそう言ったやつが飲んでいたよ。本筋に必要な労働組合とは何か分かりました。



【水野】私は、平成9年採用で、JR東海労に加入して入社して

今の大二運や駅の時からも、仕事などでJR東海労の方に助けてもらいました。不安なとき、ありがたかったですね。みんな良いおつちやんばつかり。名古屋運輸所の時から理不尽な扱いを受けてね。名輸はアットホームな職場だったけど、嫌な管理者がいて、波のある気分屋でとぼつちりを受けました。その管理者は3年間もいました。



大阪に帰ってからは「なんてこった」って状態。ミスしたときに管理者から叱責され、はらわたが煮えくりかえることばかりだね。ユニオン役員に言っても「がんばれ」と、会社と仲良しこよしでしたよ。「ハイハイ言っとけ」と言われたけど、私にはそれができませんでした。駅環流が当時チャイニーズバブルで大変でした。JR東海労の方から助け船まで出してもらいました。

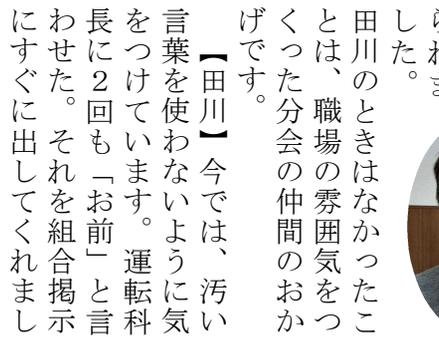


【森下】平成4年に静岡支社採用で三島駅に配属されました。余剰人員が20人出て、東京転勤となりました。管理者とは、プライベートでも付き合いがありました。東京転勤となり、当時は組合差別もそんなになかったようでしたが、人事交流で職場が変わってきました。体調不良を電話で訴えた社員が、管理者から「出て来て出勤してこい」と言われて、這いずって出勤してきた。ユニオン役員に抗議したけど、役員は真剣に取り組みませんでした。質問も出さなかった。質問も出さなかったけど、ありきたりな回答だった。

【田川】今では、汚い言葉を使わないように気をつけています。運転科長に2回も「お前」と言わせた。それを組合掲示にすぐに出してくれまし

【松山】入社して直ぐに名古屋駅配属されました。中堅が少なくて、後は若手が多かった。環境はかなり悪く、上意下達的な「管理者に従え」的な体質でした。QCのリーダーをやらされ、教育担当者からも何も教えてくれない、病欠休職しました。休職に入る段階で、管理者に困まれて「辞めた方がいい」と言われ、管理者に目を付けられて、これはダメだと思いつつ、2度目の休職に入りました。が、「次の面談までに戻れないようなら辞めろ」とまた言われました。事前に組合のことは調べていて、国労はよくわかりませんが、JR東海労はパンチがあり、メールを送って会って話を聞いてもらいました。

【松山】職場にいます。【田川】私の場合、そんなことは全くありませんでした。前田さんの会社への一喝で、「いらんことするなよ」と。【笹田】寄本さん、池田さん、添乗がやられました。田川のときはなかったことは、職場の雰囲気をつくった分会の仲間のおかげです。



た。事務所でも相談に乗ってくださるし、アットホームで楽しい、予想外にユニオン時代は何もしてもらえませんでした。

人生観が変わった!

【松山】田川さんが加入して約半年経ちました。加入前と加入後の違い、職場の雰囲気、ユニオン組合員の反応など、何かありますか。

【田川】ユニオンの何人かに「大丈夫ですか」と声をかけられました。誰かに言われていたのかと感じましたね。私は、今まで以上に生き活きています。



【山内】ユニオンからすれば困っていませんか。いろいろな言いけな

いけど、生き活きしているじゃないか。【水野】私の場合、何もありませんでした。家にも誰も来ませんでした。もし来たら、親父が「追い返す」と言っていました。

【森下】田川さんが加入したときは本当に嬉しかった。一方、会社やユニオン役員からの嫌がらせに對し、どう守るのかと考えました。これから、田川さんを入れて、横の繋がりをJR総連青年協の場で、全国の仲間と情報交換などをしていきたいですね。



【田川】ユニオンのときはスーツ通勤で、今ではラフなスタイルで通勤しています。組合の行事のときはスーツですがね(笑)。あと、「組合費な

らば取られてる？」と聞かれたけど、「ユニオンと変わらへん」と言い返しました。

【松山】JR東海労に加入して何年か経った先輩もいますが、改めて良かったことについてお聞きします。

【森下】人付き合いがよいこと。OBの先輩とも付き合える。先輩たちからアドバイスをもらえること。ユニオンでは考えられなかった。JR総連も含めて横の繋がりが幅広く、人が温かい。地域との交流もある。JR東海労に加入して良かった。

【松山】私は、組合員みんなが心配してくれ、応援してくれる。相談に乗ってくれる。【水野】本当に横の繋がりがあって、みんな優しいし暖かい。先日、沖繩に行かせてもらい、参加した人たちはみんな優しくかった。飲んだら直ぐに友達(笑)。関西の仲間が大阪に呼んでくれるし。ユニオンのときは、他社の人たちとの交流はなかった。

【田川】先日、裁判の傍聴に初めて参加させてもらいました。書面一つつくるにも議論をたくさんしていたようで、勉強になりました。



【森下】この4人で何かをやりたい。関西だから、JR西労やJR貨物労組の青年部と横の繋がりを強化してほしいです。

【水野】沖繩の時に感じたのは、世間一般の常識はJR東海の非常識というところ。【森下】会社は、他のことを受け入れようとしていないからね。年休一つとって。【水野】ユニオンにいては、自分の視野が狭くなる。その点、JR東海労は違った。それにひきかえ、ユニオン役員は差別・区別は当たり前。こんな組織はいずれは弱体化する。



【田川】会社は手のひらを返すとも思っているのかな。何でゴマをすらないかやいけないんだと思います。

【森下】昇格試験がそう。【田川】会社は手のひらを返すとも思っているのかな。何でゴマをすらないかやいけないんだと思います。

【森下】集まる場所をつくるのが大切ですね。【水野】C(主任)試験に受からなかった。森下さんもそう。2人で苦情申告しました。当面、JR東海労の中からC試験合格者を出すこと。それから、職場に組合掲示板を勝ち取る闘いを、淵上さんと一緒に進めていきます。

【松山】美濃太田運輸区で辞める人が増えている。業務改革に対して力を入れて取り組む。職場では、自分の存在を示していくことと、掲示板も守っていくこと。そして、4人で旅行に行きたいですね。

【松山】最後に、座談会に参加された本部の方より、感想をお願いします。

【笹田】4人それぞれの結節点が聞けて良かったと思います。私はずっと同じ組合ですが、みんなは壁を乗り越えてきた。それぞれの場で元気が嬉し。これからは相

【松山】今後もこのメンバーで意見共有・交換、勉強をしていきたいと思。大変お疲れ様でした。【全員】お疲れ様でした。

森下さん入社30年 功績章を祝う会開催!



東京運輸所分会(本部企画部長)森下暢紀さんが入社30年を迎えました。新幹線地本は12月15日、目黒さつきビルで功績章を祝う会を開催しました。コロナ感染拡大に

【松山】今後このメンバーで意見共有・交換、勉強をしていきたいと思。大変お疲れ様でした。【全員】お疲れ様でした。

似顔絵はOB 川野信三さん作

職場の最前線で奮闘する 仲間からの新年の決意

年休裁判5年間を振り返り

東京運輸所分会 今城 敬一



年休裁判を支えていた
います。

OBになっても現職と共に闘う!

沼津運輸区分会 植松 昌彦



年休裁判(東京)が結審し、5年間の様々なことが走馬燈の様に思い出します。原告一人ひとり、感慨深いことがあるかと思えます。判決前ですが、まだまだ裁判は続く可能性があります。

年休について、裁判を通してその本質を知ることができました。何よりも年休は企業の実況、都合によって与えられるものではなく、自分自身のものであるということですね。しかし、多くの労働者は、企業によってその権利を剥奪されていることを、この裁判を通して思いました。

新年明けましておめでとうございます。仲間の皆さん、日頃の奮闘に心から敬意を表します。私は今年7月で65歳となり、専任社員を満了します。私と同期の木下君も専任社員満了となりました。静岡地本は、現職が7名となりますので、体制自体が今まで以上に困難な状況となります。少しでも力に、現職の負担軽減になれるよう、OBになっても共に闘いに参画していく決意です。私は、JR東海労を愛しています。

私は警備会社に出向しています。劣悪な職場環境、労働条件に対して何とかしなければと思った私は、先輩プロパー社員と話をしましたが、「言っても変わらない」との返答でした。「労働組合の無い職場とはこういうところなんだ、これが世の中の現実か」と私は痛感しました。

私は、責任者である守衛長を通して支店に伝える、支店から担当者が来るように同じ方向に流されても、私は松の枝のように風に向かって真っ直ぐに生きたい」という意味です。私たちの闘いとまさしく合致します。厳しい闘いが続きます

更なる組織拡大を目指す!

関西地区分会 前田 稔



会社は、組織破壊を目的に強制出向攻撃を続けてきました。同時に、業務改革は、合理化＝組織破壊攻撃です。労働強化が強いられ、何ら労働条件の向上とはならない代物です。私たちは、議論に議論を積み重ね、出向通告面談や出向会社面談において堂々と対峙し、会社の人事権をも覆し、延べ6回の出向命令取り消しまで追い込みました。

闘いの最中、田川哲史さんがJR東海労の組織と運動、そして人間性にも共感し「今後人間らしく生きて行きたい」との決意でJR東海労に加入しました。JR東海労は、裁判闘争に依存するのではなく、職場からの闘いを結合させた結果として、寄本さん、池田さんの加入に続く組織拡大であり、完全勝利したと思えます。

さらにもっと、職場には多くの問題があります。職場では私一人ですが、今後も職場環境改善や労働条件改善に向けてがんばっていきます。

更なる組織強化・拡大のため、職場からの闘いの構築は大前提です。今後も、身体と仲間を大切にしながら、決して諦めず共に闘い抜きましょう。今年もよろしくお願致します。

大阪第一運輸所に戻るぞ!

関西地区分会 西 三喜夫



新年明けましておめでとうございます。

昨年7月6日、仮処分申立を行いました。大阪運輸所分会の仲間が陳述書を作成してくれ、とても有難かったです。

会社は、「丁寧かつ誠実に面談等を実施し就業上配慮すべき事項がないことを確認したうえで疑問等を解消するべく、丁寧で真摯な対応をしています。

年休に診断書は不要だ!

大阪車両所分会 船出 和幸



新年明けましておめでとうございます。

昨年11月29日、大阪地方裁判所に船出診断書裁判を提起しました。

「就業規則56条第2項(欠勤の手続き)により5日を超えて欠勤する場合は診断書の提出が必要」と強要されました。年休を

申し込んだのに何故、欠勤扱いされるのかおかしいと思ひ、声に出し、行動に移しました。診断書の提出は、私だけの問題ではなく、JR東海に働く社員全体の問題なのです。年休取得に理由や証明書はいらぬのです。会社の「命令と服従の支配体制」にNO!と声を上げるために、JR東海労の闘いに1人でも多くの賛同者を得るために、裁判闘争勝利に向けて最後まで闘う決意です。ご支援よろしくお願致します。